

# 無痛分娩計画表

	外来	入院当日	麻酔前	麻酔開始から分娩終了	分娩後2時間まで
目標	当院の無痛分娩について知ることができる	入院後から無痛分娩で出産するまでの流れが理解できる	安心して無痛分娩を開始することができる	母子ともに順調に経過し最善の方法で出産に至ることができる	
治療	必要時貧血の薬や便秘の薬などが処方されることがあります	子宮口を広げる処置の後から抗生剤の内服があります			痛み止め、抗生剤、乳頭保護油などの処方があります
処置		子宮口を広げる処置をします 適宜体温、血圧、CTGモニターで状態を確認します	点滴による陣痛促進を行います CTGモニターを分娩終了まで装着します	背中に麻酔の管を入れ痛みを和らげます	出産時の傷の処置をします 麻酔の管を抜きます
検査	妊娠36週以降 無痛分娩に必要な採血・心電図を確認します	採血、採尿があります			
安静度	出産に向けて体力をつけましょう 	病棟内フリーです		分娩台の上で過ごします 麻酔の効き方で向きを変えていきます 歩行や自由な姿勢はできません 体勢が辛いときは助産師に相談してください	分娩後2時間は分娩台で過ごします その後は麻酔の様子を確認して歩行します 許可が出るまでは一人でベッドから離れないようにしましょう
食事	鉄分を多く含んだ食事等バランスよく食事してください	夕飯は用意されます。21時以降の食べ物は控えてください。少量の水分は摂取可能です	食べ物は摂取できません 少量の水分は摂取可能です		分娩後からお食事が提供できます
清潔	制限はありません	子宮口を広げる処置後はシャワー浴ができません 希望時に体を拭くタオルをお渡しします			翌日からシャワー浴ができます
排泄	便秘がある方は医師へ相談してください	制限はありません	排便がない場合、浣腸する事があります	適宜、尿を管でとります 	初めてトイレに行くときは助産師が付き添います
説明 指導	36週以降医師と助産師から説明を受けます	無痛分娩の流れを動画でもう一度確認します 副作用や痛みを数字で表すことについて学び、症状が出た時や確認されたときにはすぐに助産師に伝えられるように準備します (動画は何度でも観ることができます) 		痛みの強さ、麻酔の効き具合をこまめに確認しますのでその都度教えてください	産後のスケジュールなど説明を受けます
その他	同意書・入院誓約書・パースプランを早めに用意しておきましょう	〈提出〉同意書・入院誓約書・パースプラン・母子手帳 〈来院時記入〉体調チェックシート・体温表、赤ちゃんのネーム 〈確認〉化粧、マニキュア、コンタクト、ピアスなどの装飾品は外しておいてください	弾性ストッキングをはきます 		* 分娩に至らない場合は点滴、背中の麻酔の管は継続します 翌日からもう一度点滴に陣痛促進剤を入れて誘発を再開します 助産師と一緒に赤ちゃんに授乳します 写真を撮ったり家族の絆を深めましょう 